

伊里中学校

温故知新

令和2年7月10日(金)

学校便り

NO.11 発行者：清利太志

7月の授業風景より～学びの見える化～

昨日、1Aの国語の授業を参観しました。めあては、「中高生が作った俳句を味わい、季語を選んで自分の俳句を作ることができる。」でした。グループ活動では、ソーシャルディスタンスに配慮した配置で話し合いが行われ、俳句の季語を選ぶことができました。本時は、俳句作りの第一歩でしたが、授業で学んだことを生かして、自分が納得する俳句を作ってほしいと思います。

また、昨日は備前市教育委員会の学校訪問でした。奥田教育長をはじめ、4名の方が来校され、授業を参観されました。その中で、今年度、伊里中学校が取り組んでいる3つの見える化、「**学び・秩序・貢献の見える化**」について触れられました。自転車置き場や下足箱がきれいに整頓されていることや、どのクラスも落ち着いた態度で学ぼうとする姿が見えることを評価していただきました。今後も生徒のみなさんの頑張りが見えるよう、そして互いに認め合い、高め合えるよう取り組んでいきましょう。



あいさつ運動より～秩序・貢献の見える化～

生徒会執行部では、毎週水曜日の朝、あいさつ運動をしています。生徒会スローガン「大同団結～伊里が大きくひとつにまとまる～」のもと、「生徒のみなさんが、明るく元気よく一日をスタートしてほしい。」という願いから実施しています。「**自ら、笑顔で、丁寧に**」あいさつができると、良い一日のスタートが切れるのではないのでしょうか。

